



2021年2月10日

各位

会社名 フィールズ株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 山本 英俊
 (コード番号: 2767 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経営管理部長 畑中 英昭
 (電話 03-5784-2111(代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2020年11月13日付「業績予想および配当予想に関するお知らせ」にて公表致しました業績予想を、下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 2021年3月期 連結業績予想値の修正

(1) 通期(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,200	1,200	350	10円72銭
今回修正予想 (B)	△2,200	△2,000	△3,300	△101円09銭
増減額 (B-A)	△3,400	△3,200	△3,650	-
増減率 (%)	-	-	-	-
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	713	939	490	14円79銭

(2) 業績修正の主たる理由

2021年3月期の連結業績予想に関しましては、下半期に、パチンコ5機種、パチスロ6機種、計12.0万台を販売する計画に基づき、営業利益12.0億円、経常利益12.0億円、当期純利益3.5億円とし、2020年11月13日に公表致しました。第3四半期におきましては、パチンコ2機種、パチスロ3機種、計5.2万台を販売し、概ね予定通り進捗致しました。

第4四半期におきましては、パチンコ3機種、パチスロ3機種、計7.0万台の販売を計画しておりましたが(後発機を除く)、1月7日に緊急事態宣言が再発出され、政府や自治体から外出等の接触機会削減が強く要請されたことにより、パチンコホールを訪問する営業活動に支障をきたす状況が続いております。さらに、緊急事態宣言が3月7日まで延長されたことにより、パチンコホールが新台購入を抑制する傾向が当面続くことも見込まれます。

これらを踏まえ、第4四半期に販売を計画していました6機種のうち3機種の納品を、感染拡大終息が見込まれる翌第1四半期に延期することに致しました。これを主因として、当第4四半期においては、販売台数が2.5万台(現在販売中)、連結営業損失が3.4億円となる見通しであることから、通期連結業績予想を上表の通り、営業損失22.0億円、経常損失20.0億円、当期純損失33.0億円に修正致しました。

なお、第4四半期納品予定3機種と翌第1四半期に延期した3機種の内訳は以下の通りです。

○第4四半期納品予定3機種

パチンコ『Pコードギアス 反逆のルルーシュ』（現在販売中）

パチスロ『絶対衝激Ⅲ』等、2機種

○翌第1四半期に延期した3機種

パチンコ『ぱちんこ ウルトラマンタロウ 2』等、2機種

パチスロ1機種

翌第1四半期におきましては、販売を延期させていただいた3機種（計 5.0 万台予定）、ならびに翌第1四半期に当初より予定している2～3機種（現在検討中）を販売致します。これにより、翌第1四半期の連結営業利益は 20 億円以上（当第1四半期△24.0 億円）となる見通しです。

なお、2021 年3月期の期末配当につきましては、直近に公表している内容から変更はございません。

	上半期		下半期				翌第1四半期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			前期からの延期機種	当初販売予定機種	合計
				計画	修正	差異			
販売機種数									
パチンコ	-	-	2機種	3機種	1機種	△2機種	2機種	2～3機種	5～6機種
パチスロ	-	3機種	3機種	3機種	2機種	△1機種	1機種		
販売台数	1.6万台		5.2万台	7.0万台	2.5万台	△5.0万台	5.0万台		
四半期営業損益	△24.0億円	△9.2億円	14.6億円	30.6億円	△3.4億円	△34.0億円	-		20億円以上
累計営業損益		△33.2億円	△18.6億円	12.0億円	△22.0億円	△34.0億円			

(注)本資料に記載している業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(注)本資料に記載の商品名は各社の商標または登録商標です。

以上

◆本件に関するご連絡先◆
 フィールズ株式会社 経営管理部 IR 課
 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16 番 17 号 渋谷ガーデンタワー
 電話番号:03-5784-2109 FAX 番号:03-5784-2119